

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」
令和5年度（2023年度）授業研究セミナー

道東・外国語 実施報告



令和5年11月1日（水）、北海道釧路湖陵高等学校を会場に「外国語科における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）」「ICT（一人一台端末）を活用した効果的な学習指導」をテーマとして、外国語（英語）科の授業研究セミナーを開催しました。道東ブロックの各管内から23名（参集のみ）の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

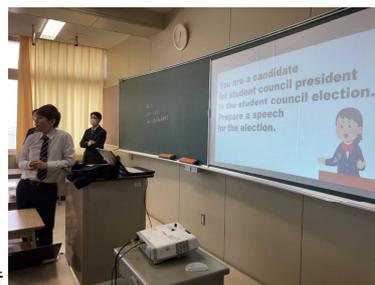
実施状況

【学習指導案検討会】

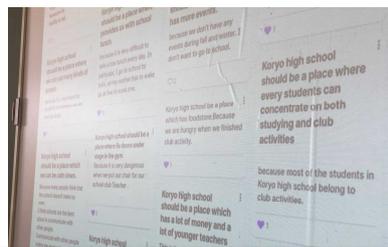
本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事3名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を3回実施しました。学習指導案検討会では、授業者が作成した学習指導案を基に、①単元の目標を達成するための指導と評価の計画、②言語活動のプロセスにおけるICTの効果的な活用、③語彙や文法等の知識・技能の定着のための言語活動について協議を行いました。本授業では特定の文法項目を取り扱うことから、言語の形式だけでなく、コミュニケーションにおける役割や機能を明確にした上で言語活動を設定することの重要性を確認しました。また、授業研究チームの各先生方が、明日の授業から使える具体的なアイデアを得る機会にもなりました。

【研究授業】北海道釧路湖陵高等学校 高橋 翔 教諭

1学年学校設定科目「SS英語」において、単元の目標を「既習の文法（関係詞）を用いて、自分の考える理想の学校と、それを実現するために自分自身ができることについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いて伝えることができる。」として、研究授業を行いました。本時の授業では、既習の英単語の意



味をペアで英語で伝え合う活動を帯活動として行った後、本題として、「理想の学校」をテーマに、個人で考えたアイデアを理由とともに、Padlet（オンライン上のツール）を用いて情報交換を行いました。その際、言語材料として既習の関係副詞を用いることを条件とし、関係詞の機能に意識を向けながら表現するよう指導していました。その後、簡易的なディベート活動として、「理想の学校を実現するために、何をすべきか」について、2人ペアで立論と反論の活動を繰り返



返しました。

生徒は、帯活動で行う英単語の英語による説明や、自分の考えなどを伝え合うディベート活動に年間を通して段階的に取り組んでいることから、普段から間違いを恐れることなく英語で話したり書いたりする習慣がついていることが非常に印象的でした。

次時の授業では、パフォーマンステストとして、本時の授業を踏まえ、「自分の考える理想の学校と、それを実現するために何ができるのか」について、80語以上の英語で書くこととしていました。話してやりとりをして終わりではなく、その内容を基に文字で書いて整理させることで、表現内容の適切さはもちろん、英語使用の正確さや適切さへの意識が向くよう配慮されていました。

[学習指導案リンク](#) QRコード



【研究協議】「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と評価について」



研究授業後の振り返り及び研究協議として、授業者からの説明と質疑応答を行った後、授業者である高橋先生をはじめ、授業研究チームのメンバーがファシリテーターとなり、各校の実践を基にした協議を行いました。研究協議では、自校において生徒が英語による言語活動を行うための具体的な指導方法や、オンラインツールやアプリケーション等のICTの活用方法、観点別学習状況の評価の具体的な方法等が情報共有されていました。まとめとして、運営者が、指導と評価の改善のポイントについて、特にパフォーマンステストやペーパーテストの工夫改善の観点から説明しました。本セミナーを通して気づいたことや学んだことを、自校での取組に活かしていただくと幸いです。

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 生徒が主体的に学ぶ姿から教師が果たすべき役割を学ぶことができた。
- 生徒が主役の授業構成になっていることがよく理解できた。
- 探究的な学びはある程度の英語力がある生徒しかできないと思っていたが、教科間連携や教材研究など教師の働きかけ次第であるということがわかった。
- 授業前後の協議と交流により、自分にはない視点を気づかされ、それについても着眼して授業を見ることができたため、有意義なものとなりました。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 75.0% ・深まった 25.0%
- 2 「ICT（一人一台端末）を活用した効果的な学習指導」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 75.0% ・深まった 20.0%